

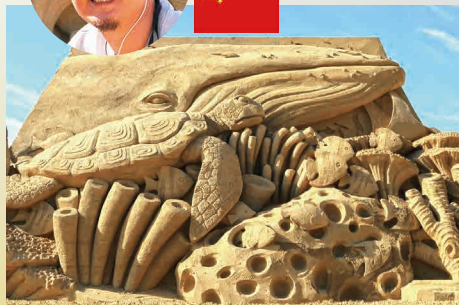
あしや砂像展2019

時空を超えて **動物Ⅰ** レッドリスト 絶滅危惧の生きものたち



6年目を迎えたあしや砂像展が10月18日に開幕し、11月1日には早くも昨年の来場者数を超え、5万人を突破。閉幕した4日までの18日間に、過去最高の7万2475人の来場を記録しました。

今年のテーマ・「動物Ⅰ」を選んだプロデューサーのちやま 茶園勝彦さんは、「多くの人が楽しめる展示であり、そのテーマに沿った深い意味があるものが、来場した皆さんにとって新しい発見につながっていく。砂だけで表現されたものが見る人の心に爪あとを残すように、世界一流のプロ砂像彫刻家チームでクオリティの高いものを完成させた」と話していました。



アメリカ
スー・マクグリューさん



日本
大工園 昭則さん



祝！5万人目



5万人目として入場した甲斐華奈江さん（福岡市）は、「子どもに動物を見せてやりたかった。砂像は思っていたよりも大きく迫力があつた」と初めて砂像を見た感想を話していました。



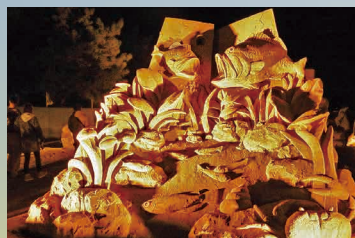
令和元年だけの祝日、即位礼正殿の儀が行われた10月22日は、1日の入場者数 9364 人という最高記録となりました。



ウォータースライダー・プールもイルミネーションで美しく輝く



国内交流ゾーン【日本砂像連盟加世田支部・黒潮支部・芦屋支部、航空自衛隊芦屋基地交友会、九州産業大学造形短期大学部、福岡教育大学、豊福寛子、八幡南高校美術部、芦屋町議会、芦屋中学校美術部】と砂像コンテストの様子



夜空を彩る花火と砂像のコラボレーション

